

単元名

## 「もっと知ろうよ わたしの町」

挑戦問題 『もっと広南のよさをさがして伝えよう』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

1 対象 第3学年1組 男子11名 女子8名 計19名

2 単元で目指す学ぶ姿

広南の町をフィールドワークやインタビューなどの調査活動を行って調べることを通して、探究的な学習に取り組み、広南のよさを伝えるために自分たちにできることを考え、実践しようとする姿

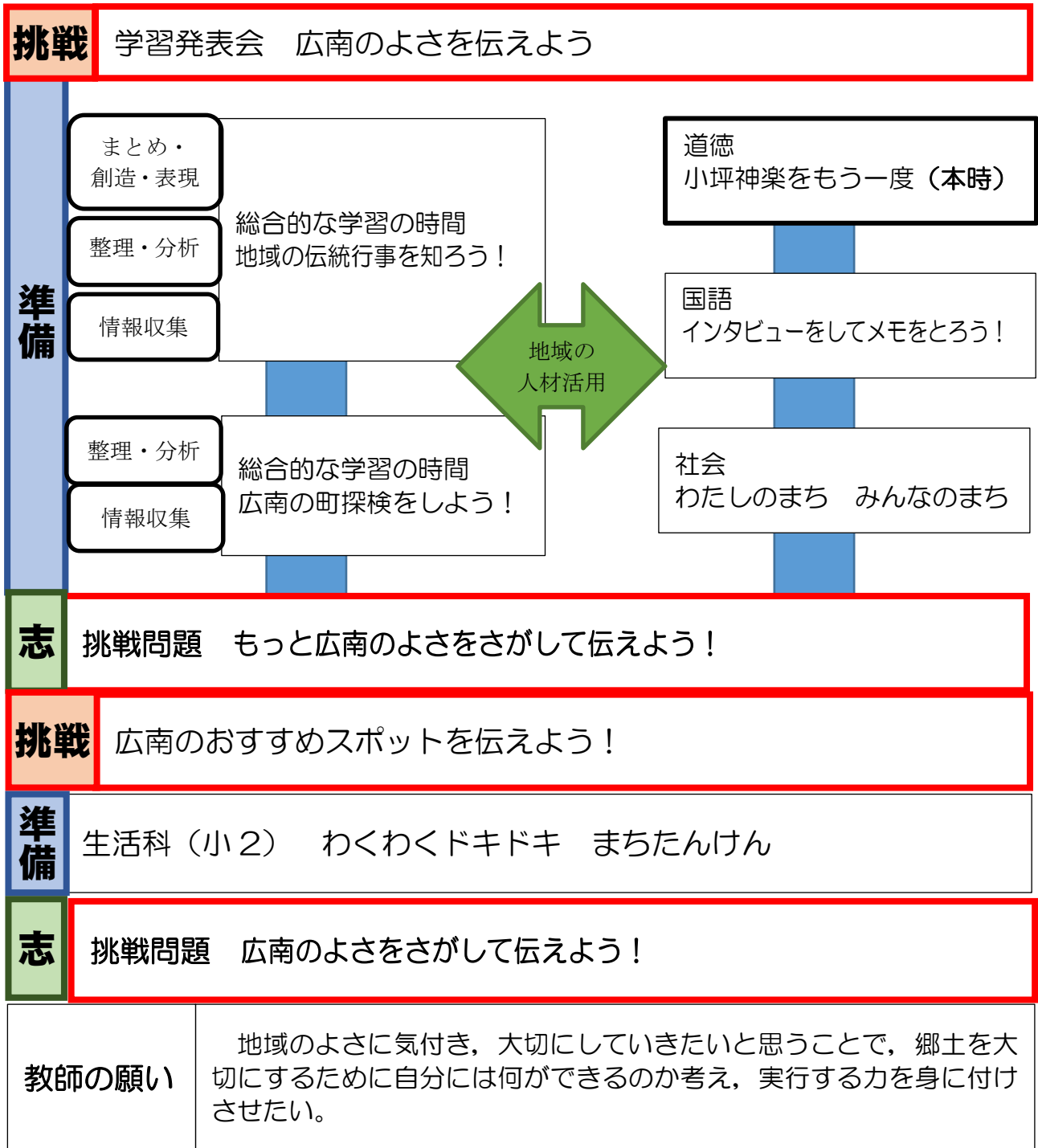
<単元で児童と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック>

資質・能力		評価	評価基準
生き方や故里に関する知識・技能		S	町探検を通して、自分たちの町の良さを3つ以上知り、伝えることができる。
		A	町探検を通して、自分たちの町の良さを2つ以上知り、伝えることができる。
		B	町探検を通して、自分たちの町の良さを知り、伝えることができる。
		C	町探検を通して、自分たちの町の良さを知り、伝えることができない。
総合的な問題解決の能力・ 実社会における横断的・ 社会的な問題解決の能力	情報収集 判断	S	広南のよさを知るために、地域を探検したり聞いたりして調べ、必要な情報を集め、活用できる。
		A	広南のよさを知るために、地域を探検したり聞いたりして調べ、必要な情報を集めることができる。
		B	広南のよさを知るために、地域を探検したり聞いたりして調べ、情報を集めることができる。
		C	広南のよさを知るために、地域を探検したり聞いたりして調べ、情報を集めることができない。
	思考 表現	S	調べたり発見したりしたことをもとに、自分の考えをまとめ、広南のよさが相手によく伝わるように工夫して表現することができる。
		A	調べたり発見したりしたことをもとに、自分の考えをまとめ、広南のよさが相手に伝わるように表現することができる。
		B	調べたり発見したりしたことをもとに、自分の考えをまとめ、表現することができる。
		C	調べたり発見したりしたことをもとに、自分の考えをまとめ、表現することができない。
実社会における横断的・総合的な問題解決に取り組む態度	挑戦 探究	S	よさを伝えるために頑張ればできそうなことに対して、積極的に挑戦し、やり遂げようとしている。
		A	よさを伝えるために、やるべきことを見付けて挑戦し、やり遂げようとしている。
		B	よさを伝えるために、自分にできそうなことを見付けて挑戦しようとしている。
		C	よさを伝えるために、自分にできそうなことを見付けて挑戦しようとしめない。
	責任 使命	S	自分たちの町のよさを、下学年に分かりやすく伝えることができる。
		A	自分たちの町のよさを、下学年に伝えることができる。
		B	自分たちの町のよさを、下学年に伝えようとしている。
		C	自分たちの町のよさを、下学年に伝えようとしていない。
	協力 協働	S	話合い活動や町探検に進んで参加し、自分の意見を出すとともに、他の人の意見も取り入れ、解決しようとしている。
		A	話合い活動で、自分の意見を出すとともに、他の人の意見を取り入れ、解決しようとしている。
		B	話合い活動で、他の人と協力して解決しようとしている。
		C	話合い活動で、他の人と協力しようとしていない。
	感謝 貢献	S	地域のよさを発見することで、進んで役に立とうと思ひ、行動している。
		A	地域のよさを発見することで、地域のために役に立とうと思っている。
		B	地域のよさを発見することで、役に立とうと思っている。
		C	地域のよさを発見することで、役に立とうとしていない。

## 【評価方法】

児童には、上記の資質・能力のルーブリック（AとS基準）を適時示し、意欲を喚起させ、単元の最後の自己評価に教師の評価を加える。（授業観察、ワークシート）

3 本単元の構想図（貫きカリキュラム）



4 単元設定の理由

本単元は、広南の町（人・もの・こと）について調べる中で、特に興味を持った事柄についてさらに追究していく活動を通して、自分たちの住んでいる地域のよさに気付き、郷土を大切にしようとする心情を育てることをねらいとしている。

児童は、2年生の生活科「わくわくドキドキ まちたんけん」で、校区内の町探検を行い、広南のおすすめスポットを伝える活動をしてきている。3年生では、生活科での経験を生かし、フィールドワークやインタビューなどの調査活動を行い、さらに広南の町を追究していく。その中で見つけた新しい発見や驚きを伝える活動に高めていきたい。

総合的な学習の時間や教科で学んだ郷土の「人・もの・こと」の学習に関連させ、道徳の時間に、郷土の文化を大切にしてきた先人の努力や心情を取り上げ、郷土のよさを実感させる学習を行う。そして、道徳で学んだことを事後の総合的な学習の時間における郷土の伝統文化の学習で生かすことで、郷土を大切にしようとする心情がより高まると考える。

地域のために【4-(5)郷土愛】

「小坪神楽をもう一度」(一部改作)

(心豊かでたくましい呉の子どもをはぐむ道徳 第1集)

1 ねらい

小坪神楽を再開させようと奔走した西本さんの気持ちを考えることを通して、郷土の文化と伝統を大切に、地域の一員として継承していこうとする心情を育てる。

2 主題設定の理由

本主題は、中学年の内容項目4-(5)「郷土の伝統と文化を大切に、郷土を愛する心をもつ。」を受けて設定したものである。これは、低学年の内容項目4-(5)「郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。」を受けたものであり、高学年の内容項目4-(7)「郷土や我が国の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。」に発展していく。

自分が生まれ育った郷土は、その後の人生を送る上で心のよりどころとなるなど、大きな役割を果たすものである。また、郷土は、生きる上での大きな精神的な支えとなるものである。郷土を愛する心は、郷土のよさを知ることから芽生え、積極的に関わることで郷土をよりよく発展させようという意欲へと高まると考える。

本校区の小坪地区には、呉市無形文化財に指定されている「小坪神楽」が継承されている。本校小坪地区の5・6年生は、「小坪神楽」の囃子(笛)を担っており、学習発表会では、6年生が囃子を披露している。現在、当たり前のように神楽に親しんできているが、その裏では、先人の様々な努力があるということを見聞は知らない。

そこで、本資料を使い、伝統を守り伝えようとする人々の存在に目を向けさせる。そして、自分が住む町には、人々が守り、伝えてきた行事や活動、事物があること、そして、そこには郷土を愛する人々の想いが込められていることに気付かせたい。本時の学習を通して、自分たちの住む郷土に関心を持ち、進んでかかわろうとする心情を育てたい。

本時では、小坪神楽を守り、伝えていくために、今現在働きかけておられる地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、お囃子を子どもたちに教えている時の気持ちや伝統を継承することへの想いなどを語っていただく場面を設定する。地域の方の神楽や町を想う気持ちを知ると共に、様々な人々が伝統を継承し、現在につながっていること、そして自分たちもその中に含まれていることに気付くことで、自分には何ができるか考えさせるきっかけとしたい。



### 3 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する児童への支援（◆） 発問（○）予想される児童の反応（┌──┐）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 広南のお祭りについて知っていることや経験したことを発表し、考えていきたい問題について考える。</p> <p>2 課題意識を持つ。</p>	<p>・長浜秋祭りや小坪神楽の写真を提示したり、お囃子の音を聞かせたりすることで、自分たちが暮らす地域のことに興味・関心を持たせる。</p>	
<p><b>「広南で大事にされ、伝えられているものを大切にするためには、どうしたらいいのでしょうか。」</b></p>		
<p>3 資料「小坪神楽をもう一度」を読んで話し合う。</p> <p>・なぜ西本さんが神楽を再開させようとしたのかを考える。</p> <p>・許可を取り、小坪から聞こえる笛や太鼓の音を聞き、座り込んだ時の西本さんの気持ちを考える。</p>	<p>・当時の社会の様子について説明しながら資料提示をすることによって、小坪の人たちのことを思う西本さんの気持ちに気付かせる。</p> <p>○西本さんは、どうして、みんなに神楽を再開しようと呼びかけたのでしょうか。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>・小坪の人を元気づけたいから。 ・小坪の人たちの楽しみを作りたいから。 ・小坪の町を元気にしたいから。 ・小坪の町を盛り上げたいから。</p> </div> <p>○小坪から聞こえる笛や太鼓の音を聞き、涙でにじんで、あかりが見えなくなった時の西本さんは、どんな気持ちになったのでしょうか。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>・みんなも練習を頑張っていたんだ。 ・みんなも喜んでくれている。 ・がんばってよかった。 ・明日、みんなで神楽ができるぞ。</p> </div>	
<p>4 小坪神楽を守るために、今現在働きかけておられる町の人々の努力や想いを知る。（GT との連携）</p>	<p>・板書の構造化を図り、伝統を継承してきた人々を矢印でつなぎ、連続していること、その中に自分たちも含まれていることをとらえやすくする。</p> <p>◆GTと資料中の西本さんに共通する想いに気付かせ、本時のねらいへとする価値へ近づけるようにする。</p>	
<p>5 提示した課題に対する自分なりの考えをワークシートに記入し、発表する。</p>	<p>◎この広南で大事にされ、伝えられているものを大切にするためには、何ができるのだろうか。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>・神楽を見に行く。 ・祭りに参加する。 ・広南のことを調べて、もっといろんなことを知りたい。 ・自分が知ったことをたくさんの人たちに伝えていきたい。</p> </div>	<p>★【感謝・貢献】 伝統や文化について自分の考えを深め、これからの実践意欲につなげることができたか。（ワークシート、発表）</p>
<p>6 今日の学習で考えたことを振り返る。</p>	<p>○友達の発表を聞いた上で、自分ならどんなことができるのかを考えて書きましよう。</p>	